

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和 5 年 1月 24日

事業所名：児童発達支援センターたんぽぽ

サービス種類：児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースの確保はできている。導線を考慮し家具を配置している。	はい 100% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 0% ・走り回れる十分な広さがある。	今後も維持に努める。
	2 職員の適切な配置	できている。利用状況に応じた対応もしている。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 2%	体制の維持に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設がバリアフリー。各部屋に名前を付け絵表示している。写真も活用している。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない0% わからない 4%	常に改善点がないか検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日当番制で清掃。アルコール消毒の徹底に努めている。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 2% ・活動の入れ替え時に掃除されていてきれい。	今後も維持に努める。参観に関しては影響を考慮して検討していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	法人の人事評価制に則り、年2回実施している。		引き続き取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は受審できなかった。		受審の方向で取り組む。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修(オンライン)への積極的な参加を推奨。 法人及び事業所内での研修を実施した。		職員の専門性を活かした内部での研修を充実させる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズの把握に努め計画を作成している。	はい 95% いいえ 0% どちらともいえない 5% わからない 0% ・細やかな計画で子どもに無理のない計画にしてくれている。	今後も保護者のニーズと子どもの様子を考慮し適切な計画が立てられるよう努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じて作成している。		必要に応じて作成する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	記載している。	はい 95% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 5%	今後も記載する。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援が行えるよう、PC内で計画を確認できるようにしている。	はい 95% いいえ 0% どちらともいえない 4% わからない 1%	常に確認ができるようにはしているの、更に実施内容を検討する機会をつくる。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常に狙いや目標を考え、かつ子どもたちが楽しんで取り組めるプログラムになるよう、意見を出し合っている。		継続して行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日のみの利用。長期休みになる(主に幼稚園)子どもに対しては利用回数を保護者と調整している。		今後も必要に応じて対応する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	過去の活動と重複しないよう確認し、新しい活動となる情報の収集に努めている。	はい 92% いいえ 0% どちらもいえない 4% わからない4% ・子どもが好きな事を取り入れつつ、当日の子ども様子に合わせて必要な事に取り組んでもらえる。 ・楽しみながらできるメニューになっている。	引き続き取り組む。季節の行事として定着しているプログラムに関しても内容を工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回実施している。		引き続き徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了直後や記録の記入の際に振り返りと今後の支援について話し合っている。		引き続き取り組む。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録し実施している。必要に応じて支援の見直しや、検討をしている。		引き続き取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	している。		引き続き取り組む。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	会議の趣旨に応じて、相応しい者が参加している。		今後も適切な対応をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所等訪問支援の範囲内で対応し共有に努めている。その他必要な場合は適時連絡をとるようにしている。		今後も適切な対応をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連絡をとっている。研修があれば積極的に参加している。	今後も取り組んでいく。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会は持っていない。	はい 43% いいえ9% どちらともいえない 2% わからない 43% 無回答 3%	普段は通園している子どもが多いため、交流の機会は検討していないが、慎重に判断する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	例年併設する施設の行事に参画しているが、今年度は行事が中止となった。		今後も合同で取り組む。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明する機会はもっている。	はい 98% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 0% ・契約書等の控えを申し出るまで渡してもらえなかった。	更に丁寧な説明に努める。書類を迅速にかつ適切に処理していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に時間をとり計画を示しながら説明している。	はい 96% いいえ 2% どちらともいえない 2% わからない 0%	更に丁寧な説明に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けの研修会を実施。利用時に保護者の対応について助言をしている。	はい 57% いいえ 2% どちらともいえない 2% わからない 39% ・生活の中に取り入れたら良いこと等わかりやすく説明がある。	今後も研修会を実施し、関り方等について保護者へ日常的に支援していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回活動時に保護者との情報共有はしている。	はい 88% いいえ 4% どちらともいえない 4% わからない 4% ・園や他の療育で困った事があれば相談し、助言してもらっている。 ・活動終了時に詳しく様子を教えてもらい、できた事に加え課題も教えてもらって助かっている。	今後も適切な対応をする。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて対応している。	はい 79% いいえ 5% どちらともいえない 9% わからない 7% ・相談するといつも親身に助言を下さり助かっている。	今後も必要に応じて対応していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	会としての活動はしていないが、親子プログラムを月に数回実施し保護者が交流できる場を提供している。	はい 29% いいえ 9% どちらともいえない 7% わからない 55%	今後も交流の場を提供し、参加率を上げていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は事実確認を早急に行い、関係者で検討し、対応している。	はい 43% いいえ 0% どちらともいえない 5% わからない 52%	今後も適切な対応をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせて対応をしている。	はい 88% いいえ 0% どちらともいえない 7% わからない 5% ・いつも相談しやすい雰囲気を作ってくれている。	より良い配慮ができるよう検討する。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便りを発行し、ホームページでも活動報告や予定を知らせている。必要に応じて文書の配布や掲示をしている、	はい 86% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 14%	お便りやホームページの充実に努め、活用してもらえるよう更に周知していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	慎重に対応している。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 2%	今後も慎重に対応する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定しているが、まだ周知徹底は不十分である。新型コロナに関しては状況に応じて対策を文書で配布、掲示を行った。	はい 61% いいえ 0% どちらともいえない 7% わからない 30% 無回答 2%	周知方法の検討をする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な実施には至っていない。	はい 30% いいえ 2% どちらともいえない 2% わからない 64% ・定期的に行っているのかわからない	定期的実施に向け検討する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	している。		今後も確保していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象となる子どもはいない。		必要となった場合は適切に対応する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書ではなく、保護者に給食のメニューと成分表を確認してもらい、除去食を提供している。		保護者との確認を徹底し、必要に応じて医師の判断を求める。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が発生した場合は記録しファイルに保管し、職朝で報告している。		今後も徹底していく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和 5 年 1 月 24日

事業所名：児童発達支援センターたんぽぽ

サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースの確保はできている。	はい 91% いいえ 0% どちらともいえない 4% わからない 5%	今後も維持に努める。
	2 職員の適切な配置	できている。利用状況に応じた対応もしている。	はい 95% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 5%	体制の維持に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設がバリアフリー。各部屋に名前を付け絵表示している。写真も活用している。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない0% わからない 4% ・わかりやすい環境になっている。	常に改善点がないか検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日当番制で清掃し、アルコール消毒している。	はい 100% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 0%	今後も維持に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	法人の人事評価制に則り、年2回実施している。		引き続き取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は受審できなかった。		受審の方向で取り組む。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修(オンライン)への積極的な参加を推奨。 法人及び事業所内での研修を実施した。		職員の専門性を活かした内部での研修を充実させる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズを把握し、計画を作成している。	はい 98% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 2%	アセスメントの内容を適宜見直す。」 課題分析に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じて作成している。		必要に応じて作成する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	記載している。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 4%	今後も記載する。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援が行えるよう、PC内で計画を確認できるようにしている。	はい 93% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 5%	常に確認ができるようにはしているの、更に実施内容を検討する機会をつくる。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常に担当者で話し合っている		継続して行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日とは別に長期休暇や休日は利用時間を長くして対応している。	継続して行う	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	過去の活動と重複しないよう確認し、新しい活動となる情報の収集に努めている。	はい 90% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない10% ・予約時点で活動内容がわかり、見通しがたてやすい。	引き続き取り組む。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回実施している。		引き続き徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了直後や記録の記入の際に振り返りと今後の支援について話し合っている。		引き続き取り組む。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録し実施している。		引き続き取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	している。		引き続き取り組む。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	会議の趣旨に応じて、相応しい者が参加している。		今後も適切な対応をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所等訪問支援の範囲内で対応し共有に努めている。その他必要な場合は適時連絡をとるようにしている。		今後も適切な対応をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて対応している。	今後に対応していく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連絡をとっている。研修があれば積極的に参加している。	今後も取り組んでいく。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会は持っていない。	はい 27% いいえ 18% どちらともいえない 4% わからない 45% 無回答 4%	地域の学校、放課後学童に通っている子どもが多いため、交流の機会は検討していないが、慎重に判断する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	例年併設する施設の行事に参画しているが、今年度は行事が中止となった。		今後も合同で取り組む。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明する機会はもっている。	はい 98% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 2%	更に丁寧な説明に努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に時間をとり計画を示しながら説明している。	はい 98% いいえ 0% どちらともいえない 4% わからない 0%	更に丁寧な説明に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していないが、外部からの案内はお知らせしている。	はい 53% いいえ 9% どちらともいえない 5% わからない 29% 無回答 4% ・日常、家庭での注意点や改善点を教えてもらえる。	必要性は感じているので、検討していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回活動時に保護者との情報共有はしている。	はい 89% いいえ 0% どちらともいえない 9% わからない 2% ・都度連絡していて、職員間でも共通理解されていて助かる。	今後適切な対応をしていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な実施はしていないが、必要に応じて対応している。	はい 78% いいえ 5% どちらともいえない 10% わからない 7% ・利用時に色々助言してもらっている。	今後必要に応じて対応していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	会としての活動は実施していない。	はい 13% いいえ 32% どちらともいえない 7% わからない 48%	必要かどうかの判断をしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は事実確認を早急に行い、関係者で検討し、対応している。	はい 53% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 45%	今後適切な対応をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせて対応をしている。	はい 91% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 7%	より良い配慮ができるよう検討する。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便りを発行し、ホームページでも活動報告や予定を知らせている。必要に応じて文書の配布や掲示をしている。	はい 77% いいえ 4% どちらともいえない 2% わからない 15% 無回答 2% ・毎月のお便りで知らせてもらえる。	お便りやホームページの充実に努める。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	慎重に対応している。	はい 91% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 9%	今後も慎重に対応する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定しているが、まだ周知徹底は不十分である。感染症(コロナ)に関しては、状況の変化に合わせて、対応を更新し周知した。	はい 79% いいえ 2% どちらともいえない 5% わからない 14%	周知方法の検討しながら、繰り返しお知らせしていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な実施には至っていない。	はい 33% いいえ 2% どちらともいえない 5% わからない 60%	定期的実施に向け検討する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	している。		今後も確保していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象となる子どもはいない。		必要となった場合は適切に対応する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、対象となる子どもはいない。		食べ物を提供する場合は保護者との確認を徹底し、必要に応じて医師の判断を求める。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が発生した場合は記録しファイルに保管し、職朝で報告している。		今後も徹底していく。